



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月27日
東

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所
コード番号 9353 URL <http://www.sakurajima-futo.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松岡 眞
問合せ先責任者 (役職名)取締役(経理部担当) (氏名)谷本 祐介 (TEL)(06)-6461-5331
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,862	△8.9	46	2.2	92	22.0	100	43.1
2022年3月期第2四半期	2,043	—	45	△64.7	76	△57.1	70	△63.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △39百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 147百万円(△34.8%)
※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	67.11	—
2022年3月期第2四半期	46.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,302	4,557	62.4
2022年3月期	7,576	4,627	61.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,557百万円 2022年3月期 4,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△4.7	110	1.1	180	△17.2	120	△32.3	79.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	1,540,000株	2022年3月期	1,540,000株
2023年3月期2Q	38,740株	2022年3月期	38,740株
2023年3月期2Q	1,501,260株	2022年3月期2Q	1,501,260株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に一服感が見られ、企業の経済活動や個人消費には持ち直しの動きが見られる一方、ウクライナ情勢等を背景とする原材料やエネルギー価格の高騰、物価上昇や金融・為替市場の急激な変動など世界経済の下振れリスクも顕在化しつつあり、引き続き先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、大阪港における事業上の好立地と充実した設備による付加価値の高いサービスをお客様に提供することを通じて、わが国の経済発展に貢献するという企業理念のもと、新たに第3次中期経営計画「構造変化への挑戦」(2022年度～2024年度)を策定いたしました。外部環境の変化に対応して経営資源を配置・投入し、中長期的視野に立った設備投資や更新投資、メンテナンスを実施していくことで、既存事業の足場固めを行うとともに、新規ビジネスを開拓・育成することや地場産業との関係を深めることなどによって、当社の強みを活かした付加価値のある仕事を追求するなど事業ポートフォリオを改善し、長期に亘り安定した収益を維持・拡大できる事業基盤の強化に努めてまいります。

上記の事業活動を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の売上高は、クレーンの修理に伴うばら貨物の取扱いが一時的に減少、また新倉庫建設工事の影響で野積場スペースが縮小し限定的な作業を余儀なくされたため1,862百万円となり、前年同期に比べ181百万円、8.9%の減収となりました。

売上原価は、ばら貨物の売上減少に伴い荷役関係諸払費が減少し、1,560百万円となり、前年同期に比べ207百万円、11.7%の減少となりました。販売費及び一般管理費につきましては、254百万円となり、前年同期に比べ25百万円、11.1%の増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は46百万円となり、前年同期に比べ1百万円、2.2%の増益となりました。また、経常利益につきましては、受取配当金を収受したことなどにより92百万円となり、前年同期に比べ16百万円、22.0%の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、政策保有株式の一部を売却し特別利益を計上したことから100百万円となり、前年同期に比べ30百万円、43.1%の増益となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

(ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、主に輸入・原燃料の取扱数量が減少したことから、ばら貨物セグメントの売上高は1,024百万円となり、前年同期に比べ247百万円、19.5%の減収となりました。

(液体貨物セグメント)

液体貨物については、原燃料用ともに貨物の荷動きが好調に推移し、前年同期に比べタンクの稼働率が上がったことなどにより、液体貨物セグメントの売上高は605百万円となり、前年同期に比べ76百万円、14.5%の増収となりました。

(物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、現在自社営業倉庫として運営している冷蔵倉庫の業態変換を進めている影響で、一時的に冷蔵倉庫の取扱数量が減少したことにより、物流倉庫セグメントの売上高は219百万円となり、前年同期に比べ11百万円、4.9%の減収となりました。

(その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、売電事業により、前年同期並みの13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,302百万円となり、前連結会計年度末に比べて274百万円減少しました。これは当社敷地の借地料に係る前払費用(流動資産その他)や有形固定資産が増加したものの、借地料や固定資産の取得による支払により現金及び預金が減少したことや保有する株式の時価の下落などにより投資有価証券が減少したことなどによるものです。

負債合計につきましては、買掛金の減少や長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べて204百万円減少し、2,744百万円となりました。

純資産合計につきましては、利益剰余金が増加したものの、保有する株式等の時価の下落により、その他有価証券評価差額金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて69百万円減少し、4,557百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前払費用の増加額などにより101百万円の資金減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得による支出などにより639百万円の資金減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは7百万円の資金増加となりました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は809百万円となり、前連結会計年度末に比べて733百万円減少しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、101百万円の資金減少（前年同期は246百万円の資金減少）となりました。これは税金等調整前四半期純利益を118百万円、減価償却費を121百万円計上するなどしたものの、前払費用の増加額239百万円や仕入債務の減少額95百万円などによるものです。なお、前払費用については、当社敷地に係る借地料の下半期6ヶ月分（10～3月分）を9月に支払っております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出を686百万円行ったことなどから639百万円の資金減少（前年同期は182百万円の資金減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローでは、長期借入金の返済による支出を105百万円行ったものの、建設協力金の受入（財務活動によるキャッシュ・フローその他）が154百万円あったことなどから7百万円の資金増加（前年同期は175百万円の資金減少）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済は、新型コロナウイルス感染症の与えたダメージから全般的に回復しつつあり、基本的には今年度下期もこの状況が継続すると予想しています。

2023年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、10月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した通り、売上高4,000百万円、営業利益110百万円、経常利益180百万円、親会社株主に帰属する当期純利益120百万円といたしました。ただし、修正の必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542,709	809,095
売掛金	443,831	355,673
リース投資資産	888,805	850,271
貯蔵品	48,703	53,934
その他	85,127	340,993
貸倒引当金	△7,303	△6,142
流動資産合計	3,001,874	2,403,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,085,869	1,161,608
その他	638,916	1,108,216
有形固定資産合計	1,724,785	2,269,825
無形固定資産		
投資その他の資産	294,534	295,468
投資有価証券	2,102,392	1,891,949
その他	452,590	441,048
投資その他の資産合計	2,554,982	2,332,997
固定資産合計	4,574,303	4,898,292
資産合計	7,576,177	7,302,118
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,065	96,950
1年内返済予定の長期借入金	197,794	172,814
未払法人税等	11,768	23,959
賞与引当金	38,400	43,240
その他	390,446	299,579
流動負債合計	830,475	636,543
固定負債		
長期借入金	1,266,694	1,186,632
繰延税金負債	343,720	277,720
環境対策引当金	58,001	56,499
退職給付に係る負債	4,324	5,734
資産除去債務	28,056	28,227
その他	417,287	552,872
固定負債合計	2,118,083	2,107,685
負債合計	2,948,558	2,744,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	365,161	365,161
利益剰余金	2,707,472	2,778,196
自己株式	△55,723	△55,723
株主資本合計	3,786,910	3,857,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	840,708	700,255
その他の包括利益累計額合計	840,708	700,255
純資産合計	4,627,618	4,557,889
負債純資産合計	7,576,177	7,302,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,043,747	1,862,492
売上原価	1,768,585	1,560,813
売上総利益	275,162	301,678
販売費及び一般管理費	229,241	254,725
営業利益	45,920	46,953
営業外収益		
受取利息	246	169
受取配当金	33,094	36,720
受取補償金	-	12,287
その他	7,961	8,340
営業外収益合計	41,302	57,517
営業外費用		
支払利息	9,344	8,616
遊休設備費	1,801	1,776
その他	-	1,244
営業外費用合計	11,145	11,637
経常利益	76,077	92,832
特別利益		
投資有価証券売却益	419	41,324
固定資産売却益	333	375
特別利益合計	753	41,699
特別損失		
損害賠償金	-	12,579
固定資産除却損	261	3,803
特別損失合計	261	16,382
税金等調整前四半期純利益	76,569	118,149
法人税、住民税及び事業税	3,218	21,607
法人税等調整額	2,925	△4,206
法人税等合計	6,144	17,401
四半期純利益	70,425	100,748
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,425	100,748

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	70,425	100,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,319	△140,452
その他の包括利益合計	77,319	△140,452
四半期包括利益	147,744	△39,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,744	△39,704

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	76,569	118,149
減価償却費	125,607	121,566
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△1,161
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,494	4,839
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△815	1,409
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△10,036	13,410
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△2,412	△1,501
受取利息及び受取配当金	△33,341	△36,890
支払利息	9,344	8,616
有形固定資産売却損益(△は益)	△333	△375
投資有価証券売却損益(△は益)	△419	△41,324
有形固定資産除却損	261	3,803
受取補償金	-	△12,287
損害賠償金	-	12,579
売上債権の増減額(△は増加)	△112,107	88,157
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,012	△5,231
仕入債務の増減額(△は減少)	40,032	△95,114
未払又は未収消費税等の増減額	△20,502	△94,676
前払費用の増減額(△は増加)	△239,511	△239,754
リース投資資産の増減額(△は増加)	35,446	38,533
その他	△123,575	△4,581
小計	△261,308	△121,829
利息及び配当金の受取額	32,620	36,890
利息の支払額	△9,222	△8,572
法人税等の支払額	△8,633	△7,777
補償金の受取額	-	12,287
損害賠償金の支払額	-	△12,579
営業活動によるキャッシュ・フロー	△246,543	△101,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△182,028	△686,174
有形固定資産の売却による収入	4,000	4,500
無形固定資産の取得による支出	△2,710	△1,718
有形固定資産の除却による支出	-	△1,713
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
投資有価証券の売却による収入	1,553	49,444
有価証券の償還による収入	30,000	-
その他	66,778	△3,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182,406	△639,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△130,022	△105,042
リース債務の返済による支出	△9,159	△7,230
配当金の支払額	△29,735	△29,829
その他	△6,237	149,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,154	7,082

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	118
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△604,097	△733,614
現金及び現金同等物の期首残高	1,331,992	1,542,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	727,895	809,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,271,745	528,764	174,061	1,974,570	12,324	1,986,895	—	1,986,895
その他の収益	—	—	56,852	56,852	—	56,852	—	56,852
外部顧客への売上高	1,271,745	528,764	230,914	2,031,423	12,324	2,043,747	—	2,043,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,271,745	528,764	230,914	2,031,423	12,324	2,043,747	—	2,043,747
セグメント利益	31,347	161,994	12,449	205,791	6,096	211,888	△165,967	45,920

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

2 セグメント利益の調整額△165,967千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,024,014	605,553	162,674	1,792,243	13,396	1,805,639	—	1,805,639
その他の収益	—	—	56,852	56,852	—	56,852	—	56,852
外部顧客への売上高	1,024,014	605,553	219,527	1,849,095	13,396	1,862,492	—	1,862,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,024,014	605,553	219,527	1,849,095	13,396	1,862,492	—	1,862,492
セグメント利益又は損失 (△)	△20,344	231,117	△7,102	203,671	7,141	210,812	△163,859	46,953

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△163,859千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。